

(別紙5)

整理番号 2019P-072
補助事業名 2019年度 更生保護施設の建築 補助事業
補助事業者名 更生保護法人長崎啓成会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

前回の施設建築から約半世紀が経過し、老朽化のため入所希望者の受入れに支障を来していたことから、補助事業により全面改築を行い、一人でも多くの行き場のない刑務所出所者等を受け入れて円滑な社会復帰を支援し、その再犯を防止することで国民が安全で安心して暮らせる社会の実現に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

更生保護施設長崎啓成会の建築 <https://www.nagasaki-keiseikai.com/report.html>

老朽化した更生保護施設を全面改築（鉄筋コンクリート造3階建、定員20名、職員宿舎含む）し、高齢・障害者も対応可能とするための設備を備えた。また、地域住民が集会等に活用できるよう地域交流室を設けるとともに、セキュリティー面を強化することで地域住民に配慮する一方、入所者のストレスを緩和するために居室や共用スペースの間取りにもこだわる設計とした。



施設の外観（正面）



施設の外観（側面）



正面玄関

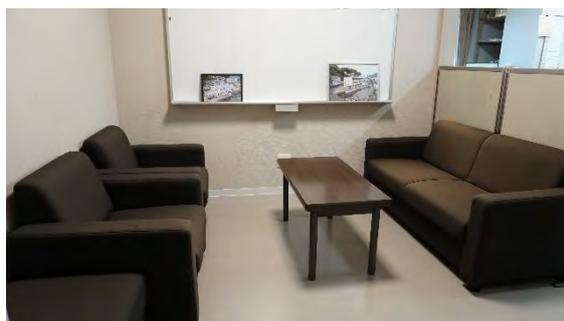


玄関ロビー

(別紙5)



事務室



応接室



地域交流室①



地域交流室②兼相談室



食堂



厨房



居室



当直室

(別紙5)



談話コーナー



1階廊下



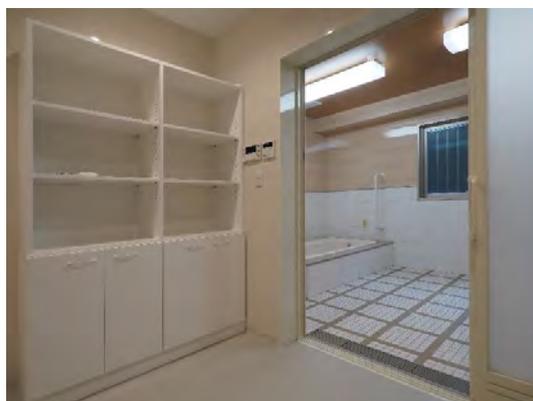
物干場 (奥は洗濯室)



洗面室



共同トイレ



浴室

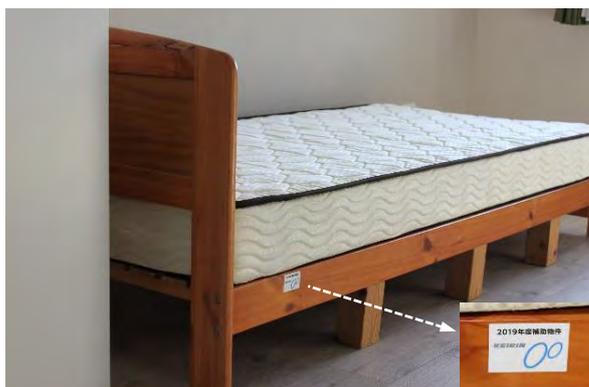


多目的トイレ



職員宿舎

(別紙5)



初度調弁（ベッドマット）



初度調弁（金庫）

2 予想される事業実施効果

新しい施設の完成により、入所者は快適な居住環境で自立更生を目指すことができる。また、福祉等の資格を有する職員を補充して職員体制を強化したため、近年増加している高齢・障害のある入所者にも対応可能となった。

今後は、段階的に収容保護率を高め、より多くの入所者を社会復帰させることで国が進める再犯防止推進計画に寄与するほか、新設した地域交流室は近隣住民の集会等にも活用できるよう広く開放しており、住民の理解が進むことによって、地域ぐるみの再犯防止活動に繋がることを期待される。

3 補助事業に係わる成果物

- ホームページの開設 (<https://www.nagasaki-keiseikai.com/>)
- 本事業に係わる印刷物等
 - ・ 長崎啓成会のしおり
(https://www.nagasaki-keiseikai.com/images/pdf_pamphlet.pdf)
 - ・ 機関誌（更生保護ながさき）

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 更生保護法人 長崎啓成会（コウセイホゴハウジン ナガサキケイセイカイ）

住 所： 〒851-0251
長崎県長崎市田上2丁目12番35号

代 表 者： 理事長 小濱 正美（オバマ マサミ）

担 当 者 名： 施設長 川内 哲也（カワチ テツヤ）

電 話 番 号： 095-822-6015

F A X： 095-822-6015

E - m a i l： n-keiseikai@tiara.ocn.ne.jp

U R L： <https://www.nagasaki-keiseikai.com/>